

2020年1月

マフラーで首のまはりを冬囲ひ  
やはらかやお国訛りも切干も  
散紅葉美しきを拾はばきりもなし  
似て非なるものねんねことちやんちやんこ  
鯛焼を君づけで呼び泳がせる  
単調且つ長編凧の交響楽  
熱々の飯煮凝を容赦せず  
木枯の使ふ楽器が虎落笛  
霰の句鉄鉢ひとつだけ使ひ  
海鼠にもあるのだろうね前うしろ